

R8年度 **それいけカレシ一号** NO.892

「未来を見つめ、今日を正しく生きる」(子どもが一番 大人は二番)

今月のおやくそく

・他のクラスのお友だちとも仲良く遊びましょう。・トイレのスリッパをきれいにそろえましょう

収穫間近の梨やマスカットが盗まれたという事件が報道されていました。その時私の頭に流れてきた曲があります。こども向け仏教歌「知っている」です。♪のの様は～くちでは何にも言わないが～あなたのしたこと知っている～知っている～♪ (“のの様” は仏様のことです)

ちょっと大がかりな園内研修を始めました 3

ティーチャーズトレーニング研修報告

前回お伝えしたのは「お母さんは女優になって、(イライラ感を出さずに) 優しい態度で接する」と「100%完璧にできなくても、ほんの少しでもやろうとした瞬間の25%でほめる」という25%ルールでした。

たとえば子どもにおもちゃを片付けてほしいときの指示の出し方は？

短く具体的に「おもちゃを片付けなさい。」年齢によっては「おもちゃを箱に入れなさい。」がもっとわかりやすいかもしれません。「部屋をきれいにして。」「ちゃんとして。」などの大人の感覚的な言葉は効果がありません。

その指示は、①大人自身が落ち着いて、②子供にもう少し近づいて目を合わせて、③声のトーンを抑えて静かに。これがポイントです。きっと1回目では応じてくれませんよね。「ヤダヤダ」の時は無視をします。でもそれは25%を見逃さないようにしなごらの無視です。単なる無視は、意地悪の無視になってしまいます。「今かな？おもちゃを持った！今だ！」→「〇〇ちゃんパトカー持ったね。箱に入れられるかな。よかった～また遊べるね。」と、こんな具合です。

子どもは注目されるのが大好き。「早くって言ったでしょ」「いつになったら片付けるの！」は負の注目です。くれぐれも“負の注目でもいいからほしいよ～”の罠に、はまりませんように。

9月の予定



9/1(火) **プ**スイミング
9/2(水) 集会誕生会
9/4(金) 防災訓練
9/9(水) **た**面談～11日(金)
9/10(木) お弁当の日
9/11(金) 運動遊び教室
9/15(火) **プ**スイミング
9/17(木) 運動会総練習



8月某日の職員の右往左往

反省を込めてお伝えすることにしました。

私が市役所に行っているとき、保育園から電話がありました。「〇〇ちゃんが転んで後頭部を打って、泣いた直後嘔吐しました。受診ですよ。」一回は電話を切ったものの「！」直後にかけなおして「嘔吐したなら救急車呼んで！相談でもいいら！」

20分後に園に着くとすっかり落ち着いていて、その子は顔色もよく、上機嫌で医务スペースで遊んでいました。対応した職員によると、119に電話をしたら「**相談は#7119へ**」と言われたそうです。指示通りそこへ電話をかけると、「嘔吐は何回か・耳や鼻からさらさらした液体は出ていないか・頭から出血はないか・見えにくそうにキョロキョロしていないか・歩きにくそうにしていないか・手足がしびれていないか」を聞かれて、どの症状もないことを伝え、救急車は必要なく、今日中に受診すべき病院を教えてくれたそうです。〇〇ちゃんの保護者の方にはたいへんご心配をおかけしました。